関西 EAC 第474回例会 のご案内

■ **テーマ** 設計情報の共有と管理
■ **日時** 2017年7月21日（金）10:20～17:10
■ **場所**
遠藤照明本社ビル　（堺筋本町）
〒541-0051　大阪府大阪市中央区備後町1-7-3　ENDO堺筋ビル2階
アクセス
■ **交通手段**
地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅　12番出口徒歩2分
地下鉄御堂筋線「本町」駅　　1番出口徒歩8分

■ **備考**
担当幹事　・鶴見製作所　堀内氏　・オムロンオートモーティブエレクトロニクス　竹澤氏

スケジュール

10:20～10:35	開会・会場紹介・会長の挨拶
10:35～11:30	【デバイス発表】『3DCADの内部情報を活用した業務改善』 キャノンITソリューションズ株式会社 エンジニアリングソリューション事業本部 3Dソリューション開発センター　開発3部 上田　拓史氏 3DCADにおけるアドオンプログラムを開発することによりお客様の業務の効率化を実現を図ってきました。そのご紹介をいたします。 ・3DCAD上の部品編集における部品のジオメトリ情報を用いた自動形状作成 ・アセンブリにおける部品の占有空間を用いた部品の自動配置 ・製図における特殊なビューの自動作成
11:30～12:30	昼食休憩
12:30～13:25	【特別発表1】『フルノで“Tableauブーム”が起きた3つの理由』 古野電気株式会社 舶用機器事業部 ITソリューション室 室長 峯川 和久氏 古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功した兵庫県の舶用電子機器総合メーカーです。現在は80か国以上に販売拠点を有し、独自の超音波技術と電子技術を元に舶用電子機器商品の開発・製造・販売を行っています。 同社ではSAP-ERP導入を契機として各部門で蓄積されているデータを有効活用するために、ユーザーと密接に関係しつつ、アジャイル文化を基本とした新しい概念のIT部門を発足させ、社内でのデータ分析の仕組みの構築とデータ分析結果の活用をTableauの活用により推進してきました。 本発表では古野電気がTableau導入を決意した理由、導入に至るまでの経緯、導入後に実現できたこと、そして今後Tableauで展開したいことを実体験に基づいて説明します。
13:30～14:25	【研究発表】『三井造船ディーゼル設計におけるPDM再構築の軌跡』 三井造船　株式会社 ディーゼル設計部　阿部　直也氏 世間には色々なPDMソフトがある中で、自社開発でPDMを再構築することになった軌跡を紹介します。 元々ハイエンドCAD系PDMソフトを導入しまたが、様々な要因により挫折。その後独自開発でPDMをコツコツと作り込んでいっています。 これで良かったのかどうか、今でも確信は持ててませんが、一つの事例として、何故このようになったのか、成功したこと・苦労したこと・失敗したことは何だったのか、などを紹介させて頂きます。
14:40～15:35	【特別発表2】『製造業の変革プロジェクト方法論』 株式会社ワイ・ディ・シー　共動創発事業本部　プリンシパル　田中　剛氏 製造業を取り巻く環境はグローバル化、コモディティ化、ビジネスの多層構造化といった今までにない市場の変化にさらされています。海外売上げ比率が上がり、国内のビジネスモデルがそのまま展開できないジレンマを抱えています。 ワイ・ディ・シー共動創発では、製造業内の変革推進部隊として市場の変化に対応した変革を実施してきました。 キーワードは、「技術情報」を活用した「経営貢献」であり、それらの事例とそこから得た方法論を紹介します。 ※幹事から補足：関西EACの情報交流会にも数回にわたり特別参加して深掘りに協力して頂いた田中様から発表して頂きます。
15:45～16:45	【グループディスカッション】「設計情報の共有と管理の変革を上手く進めるには？」 各チーム5～6名で、ディスカッションして頂きます。 ※ディスカッションの概要や感想などの発表は懇親会（貸切タイプの会場）の中で行います。
16:45～17:00	ショート発表【活動紹介】「関西EAC情報交流会（設計情報管理）」 オムロンオートモーティブエレクトロニクス　竹澤氏 プレ開催も含めて5年間の活動を行ってきた情報交流会。 この「あゆみ」と「今年の活動」を簡単に紹介します。

17:00〜17:10	次回合同例会の案内 事務局からの連絡事項
17:30〜19:30頃	懇親会（堺筋本町周辺） もちもち自家製生パスタ食べ放題 木本屋（※貸切タイプの会場です） 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町2-4-3 ISOビル1F https://r.gnavi.co.jp/8tswr65a0000/ ※会場は「音響機器あり・マイクあり・プロジェクターあり・PC接続可」